



支出伝票

会派名: 湖誠会

伝票作成日	平成30年8月3日	
支出決定	代表者印	経理責任者印
		
科目	調査研究費	
金額	¥36,280	
内容	行政視察に関わる旅費 7月31日 荒浜小学校視察 タクシー利用料金 (交通機関がないため)	
支払先		
支出年月日	平成30年8月3日	
摘要		
領収書 添付欄	乗車料金合計 ¥36,780 旅費計算より支払済み ¥500 差 引 ¥36,280	

領 収 書

No. 0252

日付 2018年 07月 31日
車番 000125 0000
基本運賃 ¥3,870円

合計 ¥3,870円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

仙台第一交通(株) 東仙台営業所
仙台市宮城野区東仙台
2丁目18-35
事務所 257-0281
配車専用 254-2221

領 収 書

No. 5821

日付 2018年 07月 31日
車番 000505 0000
基本運賃 ¥3,870円

合計 ¥3,870円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

東北第一交通株式会社
仙台市宮城野区扇町
3丁目6-30
事務所 231-7259
配車専用 237-4366
237-4367

領 収 書

No. 8294

日付 2018年 07月 31日
車番 000211 0000
基本運賃 ¥3,870円

合計 ¥3,870円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

観光第一交通(株) 泉営業所
仙台市泉区長命ヶ丘
3丁目26-8
事務所 772-0007
配車専用 236-1221

領 収 書

No. 0657

日付 2018年 07月 31日
車番 000551 0000
基本運賃 ¥3,950円

合計 ¥3,950円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

東北第一交通株式会社
仙台市宮城野区扇町
3丁目6-30
事務所 231-7259
配車専用 237-4366
237-4367

領 収 書

No. 1879

日付 2018年 07月 31日
車番 000219 0000
基本運賃 ¥3,790円

合計 ¥3,790円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

観光第一交通(株) 泉営業所
仙台市泉区長命ヶ丘
3丁目26-8
事務所 772-0007
配車専用 236-1221

19,350

領 収 書

No.0660

日付 2018年 07月 31日
車番 000302 0000
基本運賃 ¥3,470円

合計 ¥3,470円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

観光第一交通 (株)

仙台市若林区卸町東
1丁目1-56
事務所 236-1226
配車専用 236-1221

領 収 書

No.8108

日付 2018年 07月 31日
車番 000309 0000
基本運賃 ¥3,470円

合計 ¥3,470円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

観光第一交通 (株)

仙台市若林区卸町東
1丁目1-56
事務所 236-1226
配車専用 236-1221

領 収 書

No.3658

日付 2018年 07月 31日
車番 000604 0000
基本運賃 ¥3,470円

合計 ¥3,470円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

仙台第一交通 (株) 本社営業所

仙台市宮城野区中野4丁目2-3
事務所 254-2224
配車専用 254-2221

領 収 書

No.8656

日付 2018年 07月 31日
車番 000644 0000
基本運賃 ¥3,550円

合計 ¥3,550円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。

仙台第一交通 (株) 本社営業所

仙台市宮城野区中野4丁目2-3
事務所 254-2224
配車専用 254-2221

領 収 書

No.0566

日付 2018年 07月 31日
車番 000319 0000
基本運賃 ¥3,470円

合計 ¥3,470円

上記の様に領収致しました
ありがとうございます。
お忘れ物のお問い合わせ
お気づきの点は、
下記にご連絡下さい。



観光第一交通 (株)

仙台市若林区卸町東
1丁目1-56
事務所 236-1226
配車専用 236-1221

17,430

支出伝票

会派名: 湖誠会

伝票作成日	平成30年8月6日	
支出決定	代表者印	経理責任者印
		
科目	調査研究費	
金額	¥1,271,950	
内容	行政視察に関わる旅費	
支払先	竹内照夫・青山三四郎・伊藤 茂・川口正徳・北村正二・桐田真人 草野聖地・幸光正嗣・近藤眞弘・鷲見達夫・竹内基二・津田新三 中野治郎・仲野弘子・八田憲児	
支出年月日	平成30年8月6日	
摘要		
領収書 添付欄		

平成30年度 湖誠会 行政視察 旅費計算書

日 程 平成30年7月30日(月)～8月1日(水) 2泊3日

視 察 先 7月30日(月) 新衆議院第一議員会館
7月31日(火) 仙台市
8月1日(水) 函館市

視 察 旅 費 1,271,950 円

竹内 照夫 議員	87,800	円 /
北村 正二 議員	87,680	円 /
鷺見 達夫 議員	87,300	円 /
伊藤 茂 議員	87,640	円 /
川口 正徳 議員	87,820	円 /
青山三四郎 議員	87,760	円 /
桐田 真人 副議長	87,840	円 /
草野 聖地 議員	87,250	円 /
幸光 正嗣 議員	87,420	円 /
近藤 眞弘 議員	87,420	円 /
竹内 基二 議員	87,640	円 /
津田 新三 議員	87,930	円 /
中野 治郎 議長	45,760	円 /
仲野 弘子 議員	87,590	円 /
八田 憲児 議員	87,100	円 /

竹内 照夫 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 ス 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 膳所 着 山科	6.2	¥200					直出勤
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.8	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算513.6*
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	-					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	-					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	-	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	¥500					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	-					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	-	¥9,080				(繁忙期)
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	-				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	-					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	-					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 膳所	11.7	¥240					直帰り
小 計				¥45,260	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
合 計 金 額								¥87,800	

津田 新三 議員

の部分は、※堅田～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名		鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	ハ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
		キロ数	運 賃							
7月30日	JR	発 堅田 着 東京(途中下車)	536.8	¥15,880	¥5,900					直出勤 運賃計算*。525.8(繁忙期)
	私鉄	発 東京 着 国会議事堂前	2.8	¥170						新衆議院第一議員会 館 視察
	私鉄	発 国会議事堂前 着 東京	2.8	¥170						
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300		仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—						仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—						
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080					
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300		函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—						函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—						
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450						
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000						
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310						
	JR	発 京都 着 堅田	23.2	¥410						直帰リ
小 計					¥45,390	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
									合計金額	¥87,930

中野 治郎 議長

の部分は、※比叡山坂本～仙台間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 ス 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 比叡山坂本 着 東京(途中下車)	530.2	¥11,340	¥5,900				直出勤 運賃計算*。519.2(繁忙期)
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台	351.8	—	¥5,480			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 東京	351.8	¥5,940	¥5,150				
	私鉄	発 東京 着 永田町	3.5	¥170					以降議長公務
小 計				¥17,450	¥16,510	¥0	¥0	¥11,800	
								合計金額	¥45,760

八田 憲児 議員

の部分は、※大津京～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 大津京 着 東京(途中下車)	524.5	¥15,560	¥5,900				直出勤 運賃計算*。513.5(繁忙期)
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 大津京	10.9	¥240					直帰り
小 計				¥44,560	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
合計金額								¥87,100	

北村 正二 議員

の部分は、※和邇～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 和邇 着 東京(途中下車)	541.8	¥15,880	¥5,900				直出勤 運賃計算*。530.6(繁忙期)
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 和邇	28.0	¥500					直帰
小 計				¥45,140	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,680

青山三四郎 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	バス	発 南郷一丁目 着 石山	4.7	¥230					直出勤
	JR	発 石山 着 山科	9.0	¥200					
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.8	¥15,580	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*0.513.8
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,480			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 石山	14.5	¥240					
	バス	発 石山 着 南郷一丁目	4.7	¥230					直帰り
小 計				¥45,220	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,760

近藤 真弘 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 瀬田 着 山科	11.5	¥240					直出勤
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.8	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*0.513.8
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 瀬田	17.0	¥320					直帰
小 計				¥44,880	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
合計金額								¥87,420	

鷺見 達夫 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	ス 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃						
7月30日	JR	発 石山 着 山科	9.0	¥200						直出勤
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.6	¥15,560	¥5,900					(繁忙期) 運賃計算キロ513.6
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—						新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—						
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460				¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—						仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—						
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080					
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—					¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—						函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—						
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450						
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000						
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310						
	JR	発 京都 着 石山	14.5	¥240						直帰り
小 計				¥44,760	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100		
									合計金額	¥87,300

竹内 基二 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 倍 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	京阪電車	発 瓦ヶ浜 着 京阪膳所	1.9	¥170					直出勤
	JR	発 膳所 着 山科	6.2	¥200					
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.6	¥15,580	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*。513.6
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 膳所	11.7	¥240					
	京阪電車	発 京阪膳所 着 瓦ヶ浜	1.9	¥170					直帰り
小 計				¥45,100	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,640

仲野 弘子 議員

の部分は、※堅田～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 堅田 着 東京(途中下車)	536.8	¥15,880	¥5,900				直出勤 運賃計算*。525.8(繁忙期)
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,480			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 堅田	23.2	¥410					直帰リ
小 計				¥45,050	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合 計 金 額	¥87,590

桐田 真人 副議長

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	バス	発 電業会館前 着 JR瀬田駅	2.6	¥210					直出勤
	JR	発 瀬田 着 山科	11.5	¥240					
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.6	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*513.6
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 瀬田	17.0	¥320					
	バス	発 JR瀬田駅 着 電業会館前	2.6	¥210					直帰り
小 計				¥45,300	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,840

川口 正徳 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	バス	発 上稲津 着 石山	4.7	¥260					直出勤
	JR	発 石山 着 山科	9.0	¥200					
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.6	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*0.513.6
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 石山	14.5	¥240					
	京阪バス	発 石山 着 上稲津	4.7	¥260					直帰り
小 計				¥45,280	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,820

草野 聖地 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	入 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃						
7月30日	JR	発 大津 着 山科	4.5	¥190						直出勤
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.8	¥15,560	¥5,900					(繁忙期) 運賃計算*513.8
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—						新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—						
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460				¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—						仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—						
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080					
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—					¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—						函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—						
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450						
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000						
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310						
	JR	発 京都 着 大津	10.0	¥200						直帰り
小 計				¥44,710	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100		
合 計 金 額									¥87,250	

幸光 正嗣 議員

の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

















月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	JR	発 瀬田 着 山科	11.5	¥240					直出勤
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.8	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*513.8
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	—					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	—					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	—	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	—					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	—					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	—	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	—				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	—					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	—					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 瀬田	17.0	¥320					直帰り
小 計				¥44,880	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
合 計 金 額								¥87,420	

伊藤 茂 議員
















の部分は、※京都～函館間の切符を利用する

月 日	交通機関	発駅(地)名 着駅(地)名	鉄 道 等		特急運賃 急行運賃	バ 借 上 代	旅費雑費	宿泊料	食 卓 料 宿 泊 地
			キロ数	運 賃					
7月30日	京阪電車	発 中ノ庄 着 京阪膳所	1.4	¥170					直出勤
	JR	発 膳所 着 山科	6.2	¥200					
	JR	発 京都市内 着 東京(途中下車)	513.6	¥15,560	¥5,900				(繁忙期) 運賃計算*。513.6
	タクシー	発 東京 着 新衆議院第一議員会館	3.2	-					新衆議院第一議員会館 視察
	タクシー	発 新衆議院第一議員会館 着 東京	3.2	-					
	JR	発 東京 着 仙台(途中下車)	351.8	-	¥5,460			¥10,500 ¥1,300	仙台市内宿泊 (一泊朝食付き)
7月31日	タクシー	発 仙台 着 旧荒浜小学校	12.0	-					仙台市視察 (旧荒浜小学校)
	タクシー	発 旧荒浜小学校 着 仙台	12.0	-					
	JR	発 仙台 着 新函館北斗	510.7	-	¥9,080				
	JR	発 新函館北斗 着 函館	17.9	-				¥9,000 ¥1,300	函館市内宿泊 (一泊朝食付き)
8月1日	徒歩	発 函館 着 函館市役所	0.8	-					函館市視察
	徒歩	発 函館市役所 着 函館	0.8	-					
	バス	発 函館駅前 着 函館空港	8.8	¥450					
	飛行機	発 函館空港 着 伊丹空港	930.0	¥27,000					
	バス	発 伊丹空港 着 京都駅八条口	42.0	¥1,310					
	JR	発 京都 着 膳所	11.7	¥240					
	京阪電車	発 京阪膳所 着 中ノ庄	1.4	¥170					直帰り
小 計				¥45,100	¥20,440	¥0	¥0	¥22,100	
								合計金額	¥87,640

旅 費 明 細 書

氏 名	氏 名	旅 費	請 求 印	氏 名	旅 費	請 求 印
	氏 名 (15人)	竹内 照夫	87,800		竹内 基二	87,640
北村 正二		87,680		津田 新三	87,930	
鷺見 達夫		87,300		中野 治郎	45,760	
伊藤 茂		87,640		仲野 弘子	87,590	
川口 正徳		87,820		八田 憲児	87,100	
青山三四郎		87,760				
桐田 真人		87,840				
草野 聖地		87,250				
幸光 正嗣		87,420				
近藤 眞弘		87,420				
出張先						
期 間	平成30年7月30日(月)～8月1日(水) 2泊3日					
用 件	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><新衆議院第一議員会館></p> <p><仙台市></p> <p><函館市></p> </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体戦略2040構想研究会のまとめについて ・津波の被害状況及び震災遺構としての整備 ・函館市成年後見センターの運営等について </div> </div>					
旅費額 (1人当り)	交通費	別紙明細のとおり	円	旅費総額(15人分)		
	車賃		円	1,271,950 円		
	旅行雑費		円	認 印	代 表 者	経 理 責 任 者
	宿泊料		円			
	合 計		円			
備 考						

旅 費 領 収 書

氏 名	旅 費	領収印	領収日	受領日	旅費	領収印	領収日
竹内 照夫	87,800		8/6	竹内 基二	87,640		8/6
北村 正二	87,680		8/6	津田 新三	87,930		8/6
鷺見 達夫	87,300		8/6	中野 治郎	45,760		8/6
伊藤 茂	87,640		8/6	仲野 弘子	87,590		8/6
川口 正徳	87,820		8/6	八田 憲児	87,100		8/6
15人 青山三四郎	87,760		8/6				
桐田 真人	87,840		8/6				
草野 聖地	87,250		8/6				
幸光 正嗣	87,420		8/6				
近藤 真弘	87,420		8/6				

領 収 書

湖誠会 様

No. 9799-1

★

¥177,000-

但 7/30 宿泊 三井ガーデンホテル仙台 @11,800円×15名様分として(1泊朝食)
2018年 8月 6日 上記正に領収いたしました



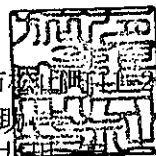
〒520-0024

滋賀県大津市

有限会社 旅助

代表取締役 北川 宏

TEL 077-528-2266



領 収 書

湖誠会 様

No. 9799-2

★

¥144,200-

但 7/31 宿泊 ルートイングランティア函館駅前 @10,300円×14名様分として(1泊朝食)
2018年 8月 6日 上記正に領収いたしました



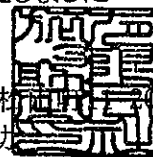
〒520-0024

滋賀県大津市

有限会社 旅助

代表取締役 北川 宏

TEL 077-528-2266




議長	副議長	局長	次長	課長	補佐	副参事	主幹	主査	主任	係
										

視察研修結果報告書

平成 30 年 8 月 31 日

大津市議会議長 中野 治郎 様

湖誠会幹事長 竹内 照夫 

視察・研修の結果について（報告）

本会派が視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 期 間 平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 1 日（水）
2. 視 察 先
 - (1) 衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町 2 丁目 2-1）
 - (2) 仙台市立荒浜小学校（仙台市若林区荒浜字新堀端 32-1）
 - (3) 函館市役所（北海道函館市東雲町 4-13）
3. 目 的 行政視察
4. 調査研究内容
 - (1) 自治体戦略 2040 構想研究会のまとめについて
 - (2) 津波の被災状況及び震災遺構としての整備
 - (3) 函館市成年後見センターの運営等について
5. 参加議員

幹 事 長	竹内 照夫	議 員	幸光	正嗣
副 幹 事 長	北村 正二	議 員	近藤	眞弘
幹 事	鷺見 達夫	議 員	竹内	基二
幹 事	伊藤 茂	議 員	津田	新三
幹 事	川口 正徳	議 員	中野	治郎
議 員	青山三四郎	議 員	仲野	弘子
議 員	桐田 真人	議 員	八田	憲児
議 員	草野 聖地			



湖誠会 会派視察報告書

平成30年7月30日(月)
(衆議院第一議員会館第7会議室)

自治体戦略2040 構想研究会 第一次・第二次報告の概要

【研修項目】

2040年に高齢者人口のピークを迎える我が国の課題として報告されていた、第一次報告と、その内容を元に議論された第二次報告について説明を受けた。

第一次報告においては、高齢者人口がピークを迎える2040年頃までの個別分野と自治体行政の課題について俯瞰し、2040年頃にかけて迫り来る我が国の内政上の危機とその対応を、1若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方圏、2標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全、3スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラの3つの柱で整理された。

これらの危機を乗り越えるべく、国として資源を最大限投入するに当たって、自治体も、持続可能な形で住民サービスを提供し続けられるようなプラットフォームであり続けなければならないとされて、第一次報告では、自治体行政の基本的なシステムの書き換えが必要であり、今後の検討の基本的方向性を5点挙げられた。なかでも特に、本市行政で検討が必要と考えられるのは、次の2点である。

- 1、個々の市町村が行政のフルセット主義を排し、圏域単位で、あるいは圏域を越えた都市・地方の自治体間で、有機的に連携することで都市機能等を維持確保することによって、人が人とのつながりの中で生きていける空間を積極的に形成し、人々の暮らしやすさを保障していく必要がある。
- 2、これまで自治体が個々にカスタマイズしてきた業務プロセスやシステムは、大胆に標準化・共同化する必要がある。更には、今後、ICTの利用によって処理できる業務はできる限り ICT を利用するという ICT の活用を前提とした自治体行政を展開する必要がある。

この内容について第二次報告で述べられているのは、次の2点である。

- 1、スマート自治体への転換、
- 2、公共私によるくらしの維持

スマート自治体への転換については、自治体の情報システムにおける課題として、基幹情報システムのクラウド化が進んでいないこと、同じ法令であっても、自治体ごとにサービス提供の方法が異なること、手作業での入力が多く、業務の自動化が進んでいないことなどが挙げられており、次の3点を示唆されている。

- 1、AI やロボティクスなどを積極的に活用して、自動化・省力化を図り、とくにバックオフィスにおいては、共通の情報システムを活用して低廉化をはかり、従来の半分の職員でも自治体として本来担うべき機能が発揮できるような仕組みを構築する必要がある。
- 2、スマート自治体への転換に当たり、職員には、高い専門性や企画調整能力、コミュニケーション能力が求められ、各自治体は、業務プロセスや制度自体の複雑さや冗長性を取り除く必要がある。
- 3、各自治体においてカスタマイズされてきた様式は、新たな法律の整備も検討しながら、標準化と電子化を進める必要がある。

次に、公共私によるくらしの維持については、次の様に示唆されている。

自治体の役割の変化については、職員は職員でなければできない業務に特化し、既存の制度・業務を大胆に再構築する必要があり、自治体は、職員がプロジェクトマネージャーとなって、新たな公共私協力関係を構築することなどにより、従来の半分の職員でも自治体として本来担うべき機能が発揮できるような仕組みを構築する必要がある。

また、別の項では、次の点も述べている。

自治体のあり方は、人口縮減時代のパラダイムへ転換しなければならない。これまでの人口拡大期には、いわば独立した自治体による個別最適の追求が全体最適をもたらした。しかし、人口縮減期を迎え、個別の業務カスタマイズは却って全体最適の支障となっている。標準化された共通基盤を用いて、効率的にサービスを提供する体制を構築することが求められる。

詳細については、提供された資料を添付するので、参考にされたい。

【所 感】

これまで、人口増加の一途をたどり、個々の自治体がそれぞれの個別最適を図ることで、その結果としての全体最適が図られた。人口と経済の拡大を背景に、多岐にわたり拡大する市民ニーズに応えるべく、行政サービスの拡充を進めた。そのための業務量拡大を一貫して行政職員の増員により対応してきた。

そして、現在、戦後はじめての人口減少局面を迎え、さらに2040年をピークに高齢化が進行する状況で、様々な課題が予測される事となり、これまでの行政手法では、この難局を乗り越えることはできないとの報告であった。

今後の行政職員は、職員にしかできない業務に特化し、既存の制度・業務を大胆に再構築する必要があり、自治体は、職員がプロジェクトマネージャーとなって、新たな公共私との協力関係を構築することなどが求められる。

また、既存の業務プロセスや、システムを全体最適の視点で根本から見直し、自治体間で異なる様式や複数の担当者で重複するプロセスを排除すること、すなわち、OSの書き換えが必要だと示唆されている。

たとえば、本市において、マイナンバー記載の項目を1つ追加するだけでも3千万円以上のシステム改修コストがかかる。全国1,800市で同様のシステム改修が実施されれば、総コストは膨大なものになる。全国共通のシステムであれば、どれだけのコスト削減が成されるかは、言うまでもない。

また、共通の業務プロセス、共通のシステムを利用することによって、人材の相互融通を実施することも容易になり、例えば、災害時の証明書発行業務の支援なども、全国の市町から応援派遣することが可能になる。

ひいては、行政間でのUターン、Iターン転職など、キャリア選択の幅も広がることになる。

バブル崩壊後、民間企業では、独自システムの開発比率を下げ、可能な限りパッケージソフトを利用し、社内、グループ企業内での業務共通化はもとより、アウトソーシングが可能になるように、業務プロセスの標準化に努めた。

行政も同じく、個々のアイデンティティを大切にしながら、高次元での市民サービスにおいて、地域特性に配慮した個別政策を進めながらも、基本業務については、標準化を図ることで、より少ないリソースで、高度なサービスレベルを保つことができると認識した。

自治体戦略2040構想研究会について

2040年頃をターゲットに人口構造の変化に対応した自治体行政のあり方の検討が必要

- 我が国の人口は、2008年(1.28億人)をピークに減少。大都市部を中心に高齢化が急ピッチで進行。
2040年頃には総人口は毎年100万人近く減少。
→ **自治体の税収や行政需要に極めて大きな影響を与える。**
- 医療、福祉、インフラ、空間管理など、**住民サービスの多くは地方自治体が支えている。**
地方自治体が**持続可能な形で**住民サービスを提供し続けることが、「住民の暮らし」や「地域経済」を守るために不可欠。
さらには、我が国が国際社会において「名誉ある地位」を占め続けるためにも必要。

高齢者人口がピークを迎える**2040年頃**(2042年に3,935万人)をターゲットに、

- ① 住民生活に不可欠な行政サービスがどのような課題を抱えていくことになるのか、
- ② その上で、住み働き、新たな価値を生み出す場である、都市をはじめとする自治体の多様性をどのように高めていくのか、
- ③ ①、②のために、**どのような行政経営改革、圏域マネジメントを行う必要があるのか、**
検討を進める必要がある。

➡ **持続可能で多様な自治体による行政の展開が、我が国のレジリエンス(強靱性)向上につながる。**

世界の変化(2015→2040)

- **人口はアジア、アフリカを中心に18億人増加**
世界の人口:74億人→92億人(うちアジア7億人、アフリカ9億人)
アジアの人口:印+3億、パキスタン+0.9億、インドネシア+0.5億、中+0.2億
- **人口は都市部へ集中。都市の時代に**
世界の都市人口:40億→57億、印+2.8億、中+2.6億、インドネシア+0.7億
- **東アジア諸国を中心に高齢化が進展**
合計特殊出生率(2015):日1.45、タイ1.4、韓1.24、台湾1.18
- **世界経済の中心は欧米からアジアへ**
GDPシェア(2010→2030):米24→20、欧17→12、中16→24、印6→10、日7→4

日本の変化(2015→2040)

- 人口は0.16億人減少し、1.11億人に
- **団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢者人口がピーク**
65歳以上人口:3,387万人→3,921万人(+534万人(+16%))
75歳以上人口:1,632万人→2,239万人(+607万人(+37%))
- **三大都市圏で特に高齢化が急速に進行。東京都も2025年をピークに人口減少に転じる。**
65歳以上人口: 東京都 307万人 → 400万人(+93万人(+30%))
大阪府 232万人 → 265万人(+33万人(+14%))
愛知県 178万人 → 224万人(+46万人(+26%))
- **生産年齢人口減少により労働力確保が課題**
生産年齢人口:7,728万人→5,978万人(▲1,750万人)

開催概要

座長・座長代理・委員

(座長)	清家 篤	日本私立学校振興・共済事業団理事長 慶應義塾学事顧問
(座長代理)	牧原 出	東京大学先端科学技術研究センター教授
(委員)	飯田 泰之	明治大学政治経済学部准教授
	池本 美香	株式会社日本総合研究所調査部主任研究員
	井手 英策	慶應義塾大学経済学部教授
	大屋 雄裕	慶應義塾大学法学部教授
	林 直樹	金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授
	松永 桂子	大阪市立大学商学部准教授
	村上 由美子	OECD東京センター所長
	横田 響子	株式会社コラボラボ代表取締役

開催実績

第1回(10月 2日)	意見交換
第2回(10月31日)	「教育・子育て」
第3回(11月16日)	「医療・介護」
第4回(12月 7日)	「インフラ・公共施設／公共交通」
第5回(12月15日)	「空間管理、治安・防災」
第6回(1月30日)	「労働」
第7回(2月 7日)	「産業・ICT」
第8回(2月23日)	「自治体行政」
第9回(3月19日)	第一次報告とりまとめに向けて①
第10回(3月29日)	第一次報告とりまとめに向けて②
4月26日	第一次報告を大臣に手交
第11回(4月27日)	「地域圏の圏域マネジメント」
第12回(5月10日)	「大都市圏(特に東京圏)の圏域マネジメント」
第13回(5月30日)	「多様な担い手によって住民ニーズを満たす 仕組み／自治体行政の標準化」
第14回(6月 6日)	第二次報告とりまとめに向けて①
第15回(6月15日)	第二次報告とりまとめに向けて②
第16回(6月27日)	第二次報告とりまとめに向けて③
7月 3日	第二次報告を大臣に手交

平成 30 年 7 月 31 日 (火)
宮城県仙台市 (荒浜小学校)

震災遺構 仙台市立荒浜小学校について

～津波の被災状況、震災遺構としての整備経過など～

○調査項目

1 はじめに

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生した東日本大震災（暫定マグニチュード 9.0）において、仙台市では宮城野区で震度 6 強、青葉区・若林区・泉区で震度 6 弱を記録し、仙台港で約 7.2m の津波を観測した。

荒浜小学校では約 1 時間後の 15 時 55 分に津波が押し寄せ 2 階まで津波で浸かったが、児童や教職員、地域住民ら 320 名が屋上に避難して助かった。

荒浜地区では逃げ遅れや避難をしなかった住民ら 180 名が犠牲となった。

被災した校舎のありのままの姿と被災直後の写真展示等により、来館者に津波の威力や脅威を実感していただき、防災・減災の意識を高める場とすることを目的に、本校舎を震災遺構として整備費用 2 億 4,000 万円をかけ平成 29 年 4 月 30 日に公開され、津波の脅威や教訓を後世に伝えている。

そういった中、湖誠会では今後における災害対応に活かすため、災害から復興に向けての取り組みについて平成 30 年 7 月 31 日、宮城県仙台市の「震災遺構・仙台市立荒浜小学校」へ行政視察を実施したものである。

2 市の概要について

仙台市は、宮城県の中部に位置する同県の県庁所在地で、東北最大の都市であり、市域の北端から西端にかけて奥羽山脈が走り、同山脈を挟んで山形県山形市と接している。

市域の東側には広い丘陵地が続き、その間の七北田町ほか2河川が東流して太平洋に注ぎ、これら3河川の堆積によって形成された平野が丘陵地の東側に広がっている。

気候は太平洋に面した太平洋側気候のために寒暖の差は少なく、冬に奥羽山脈からの乾いた北西の風のために積雪は少ない特徴がある。

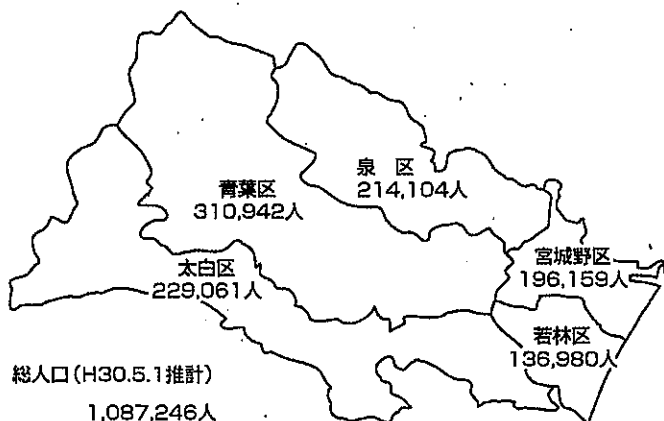
また、都市部の周辺には広瀬川や青葉川などの自然があり、都市部にも街路樹などの緑が多いことから「杜の都」と呼ばれている。

☆仙台市の概要：

・人口等：

	人口	世帯	(参考)県人口
H30.6.1	1,088,027	513,791	2,315,614
H23.3.1	1,046,737	465,811	2,346,853
増減	41,290	47,980	▲31,239

・市内の人口区分



3 被災状況について

(1) 仙台市内における物的・人的被害について

人的被害・物的被害

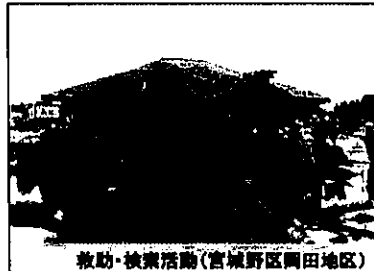
人的被害 (平成29年3月1日現在)		
	仙台市内	
		うち仙台市民
死者	904名	809名
行方不明者	27名	
負傷者	2,275名	

※仙台市民で亡くなられた方 1,002名
(仙台市外で死亡が確認された仙台市民 193名)

被害額の概要 (平成30年3月1日現在)	
市有施設関係	約 2,623億円
その他公共施設	約 1,452億円
住宅・宅地	約 6,086億円
商工業関係	約 2,147億円
農林水産業関係	約 735億円

被害推計額 約1兆3,043億円

建物被害 (平成25年9月22日現在)	
	仙台市内
全壊	30,034棟
大規模半壊	27,016棟
半壊	82,593棟
一部損壊	116,046棟



救助・捜索活動(宮城野区岡田地区)

1. 人的被害 (平成 29 年 3 月 1 日時点)

死者

市内で死亡が確認された方 904名 (男性 501名, 女性 403名)
(仙台市民以外の方 95名を含む。)

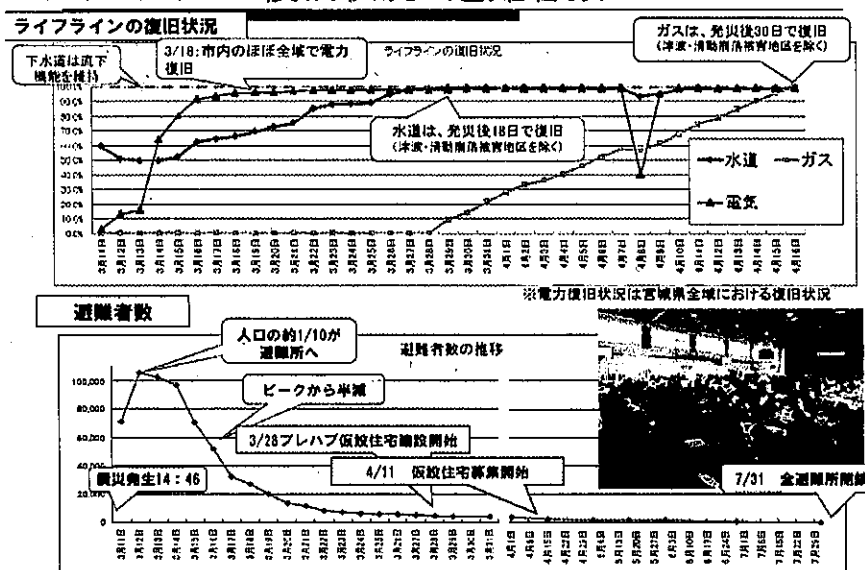
仙台市民の方 1002名 (男性 554名, 女性 448名)
(市外で死亡が確認された方 193名を含む。)

2. 建物被害 (平成 25 年 9 月 22 日時点)

全壊 : 30,034棟
大規模半壊 : 27,016棟
半壊 : 82,593棟
一部損壊 : 116,046棟

(2) ライフラインの復旧状況と避難者数

ライフラインの復旧状況と避難者数



仙台市では、各地域にある小中高等学校などを災害時の避難所（指定避難所）に定めている。今回の震災では、最大で仙台市の人口の約10%にあたる10万人以上の方々が避難所に避難した。

避難所は、最も多い時で市内に288カ所（3月14日）開設され、電気・水道・ガス等のライフラインや交通機関の復旧に伴い避難者は減少し、避難所の集約や仮設住宅等への入居などを経て、7月31日には市内にあった全ての避難所が閉鎖となった。

(3) がれきの処理

がれき処理

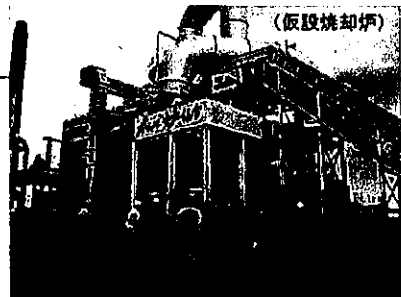
震災廃棄物等処理量272万トン



仙台市の7年分
のごみ量に相当

仙台方式(自己完結型)

東部沿岸地域に3ヶ所の搬入場(計100ha)と仮設の焼却炉を設置
搬入場ではコンクリートや家電、木類など10種類以上に細かく分別



平成25年12月処理完了

震災廃棄物等処理量等		
区分	処理量	リサイクル率
がれき	137万トン	72%
津波堆積物	135万トン	96%
合計	272万トン	84%

目標リサイクル率 50%を達成

道路等の盛土材に再利用



蒲生搬入場(平成24年1月)

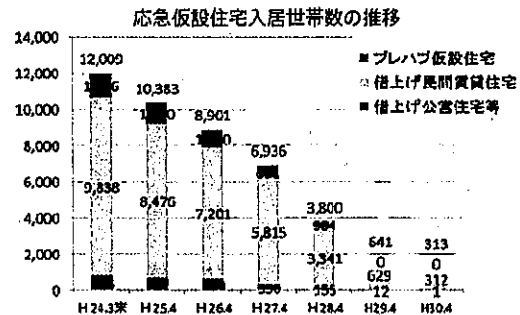


蒲生搬入場(平成25年12月)

(4) 応急仮設住宅



プレハブ仮設住宅団地(あすと長町地区)



仙台市内では、市外や県外からの避難者も含め、ピーク時には12,000世帯を超える方々が応急仮設住宅に避難し、公園などにプレハブ仮設住宅1,505戸を建設したほか、民間賃貸住宅を応急仮設住宅(みなし仮設住宅)として大量に活用した。

復興公営住宅の整備など住まいの再建に関する事業が進んだことや、生活再建支援の取り組みなどによって、平成28年10月には、プレハブ仮設住宅の入居者がゼロとなり、翌年3月末には仙台市で被災した方々は全て再建を果たされた。現在プレハブ仮設住宅は解体撤去され、仙台市外で被災した方々がみなし仮設住宅に入居している。

4 被災から復興に向けた取り組みについて

被災者の一日も早い生活再建を目指し、被災された方々や市議会、有識者などの意見を十分踏まえ、被災地最短の5カ年の震災復興計画を策定（平成23年11月末）し、復興事業に取り組まれた。

(1) 震災復興計画

仙台市の震災復興計画では、復興に向けて4つの方向性を定めて取り組みを進められた。

① 減災を基本とする防災の再構築

自然を制御する完全な防災ではなく、人命を守り、被害を最小化する減災を基本に、防災のあり方を再構築。

② エネルギー課題等への対応

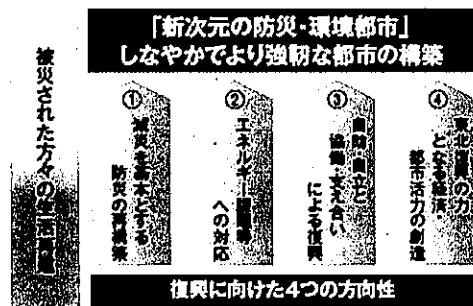
エネルギー・燃料の確保と再生可能エネルギーの利活用を推進。

③ 自助・自立と協働・支え合いによる復興

自分の身は自分で守り(自助)、災害弱者を地域で支え合う(共助)とともに、行政の支援(公助)を再構築して、減災のまちづくりを推進。

④ 東北復興の力となる経済・都市活力の創造

地域経済を再生させ、新たな活力を創造し、東北復興をけん引。



(2) 住まいの再建

震災からの復興に向けて最も重要な課題は、被災した方々が一日も早く平穏な元の暮らしを取り戻すことです。仙台市では、住まいの再建に向けて、大きく3つの事業を実施した。

防災集団移転

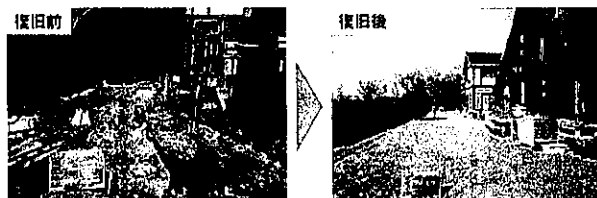
津波被害を受けた東部沿岸地域から、より安全な内陸部へ移転する事業(防災集団移転促進事業)で、移転先の宅地造成を行いました。



防災集団移転先（上岡田地区）

被災宅地の復旧

内陸丘陵部の大規模な地すべり被害が発生した地域では、公共事業による被災宅地の復旧事業を実施しました。



内陸丘陵部の宅地被害と復旧状況（青葉区高野原一丁目）

復興公営住宅の整備

被災された方々のうち震災によって住居を失い、お住まいの確保に困っている方を対象に、復興公営住宅(3,206戸)を整備しました。



復興公営住宅(泉中央南)

5 防災から減災に向けた取り組みについて

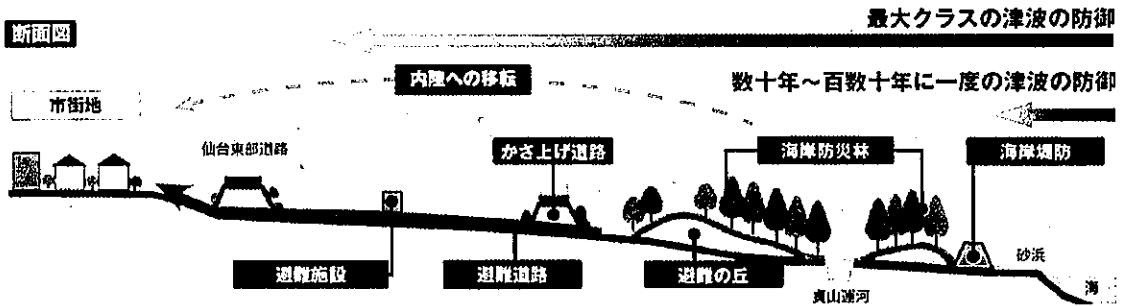
仙台市は、昭和53年に宮城県沖地震を経験した。その時の教訓から、次の宮城県沖地震を想定し、様々な地震防災対策を講じてきた。

今回の震災では、それらは一定の効果を上げた一方で、新たな課題も明らかになり、仙台市は、この経験を踏まえ、次の災害に備えた新たな対策に取り組んでいる。

(1) 多重防御による総合的な津波対策

仙台市では、津波に対する防御として、海岸堤防やかさ上げ道路などの多重防御施設を整備するとともに、それに頼り切ることなく「避難」を重視した施設も整備している。

それでも安全を確保できない地域では、住まいを移転するなど、被害を最小化する「減災」を重視した様々な津波対策を進めている。



海岸堤防・海岸防災林・かさ上げ道路



海岸堤防の整備

高さ T.P.+7.2mの海岸堤防を整備しています。数十年から百数十年に一度の頻度で発生する津波や高潮による浸水を防ぎます。
※T.P.: 東京湾の平均海水面



海岸防災林の再生

津波の勢いを減衰させるため、防災林の再生を行っています。

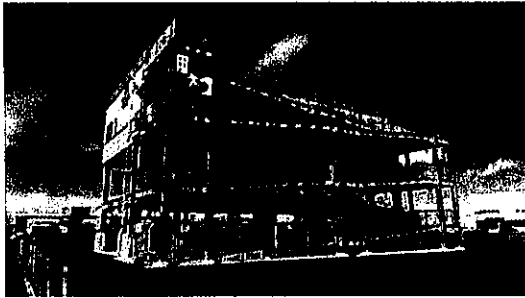


かさ上げ道路の整備

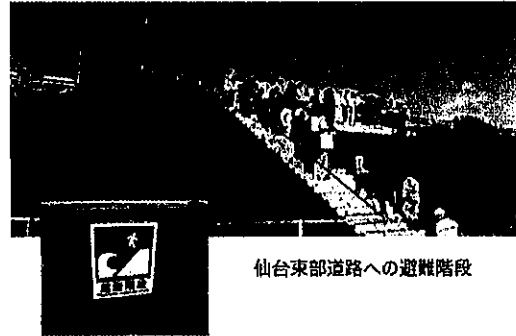
沿岸部を南北に走る県道等の隣に、高さ6mのかさ上げ道路を建設し、最大クラスの津波に備えます。

避難施設等

逃げるための施設として、避難施設(避難タワー・ビル・学校屋上への避難階段 計13カ所)と避難の丘(4カ所)を整備したほか、避難道路(3本)の整備を進めています。また、仙台東部道路を管理しているNEXCO東日本では、仙台東部道路に避難するための階段(仙台市内に5カ所)を整備しています。



中野五丁目津波避難タワー



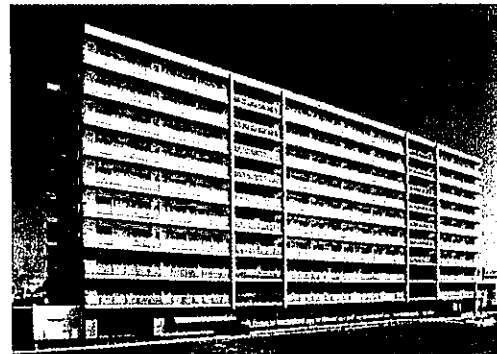
仙台東部道路への避難階段

安全な内陸部への移転

被災された方々が、安全なお住まいに移り住めるよう、防災集団移転の移転先地を整備したり、復興公営住宅を建設しました。

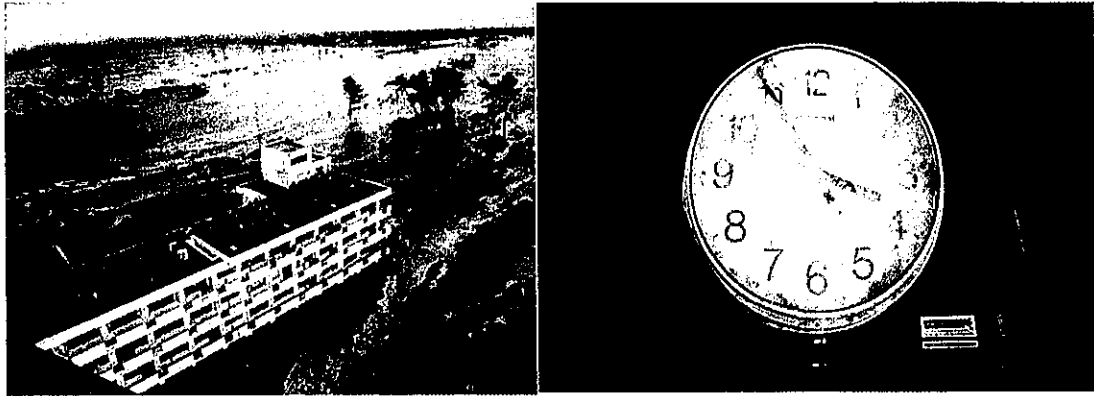


集団移転先地の整備(南福室地区)



復興公営住宅(六丁の目西町)

6 震災遺構としての荒浜小学校について



荒浜地区は、仙台市中心部から東に約10km離れた太平洋沿岸部に位置しており、海岸線に沿うように歴史ある運河・貞山堀が流れ、その周囲に約800世帯、2,200人の人々が暮らす集落であった。

1873（明治6）年創立の荒浜小学校は、海岸から約700m内陸に位置し、震災当時は91人の児童が通っており、2011年3月11日に発生した東日本大震災において、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた。

被災した校舎のありのままの姿と被災直後の写真展示等により、来館者に津波の威力や脅威を実感していただき、防災・減災の意識を高める場とすることを目的に、本校舎を震災遺構として公開された。

ここでは、津波による犠牲を再び出さないため、津波の脅威や教訓を後世に伝えている。



所感

前日の東京での視察を終え、仙台駅前のホテルから震災遺構荒浜小学校へ向かった。

タクシーの運転手さんに「震災当時ここまで津波が来ました・・・」など言いながら車を走らせたが、震災があった平成23年3月11日から7年が経ち、新たに建設された新興住宅地や復興公営住宅が建ち並び一向に爪痕を感じない。

しかし、仙台東部道路を越えた辺りから景色が一変し、進む復興と消えぬ傷痕を目の当りにした。

海岸から約700mの震災遺構荒浜小学校へ着くころには、かさ上げ道路の建設現場やものものしい津波避難タワー、そしてポツンと小学校が建っており、周りにはコンクリートの住宅基礎だけが残っていた。

当日は、震災から初めての海開きということで賑わいを見せており、猷花台の横で子どもたちが浮き輪を両手に持ち走っている姿を見ると複雑な思いと同時に力強く前向きに復興していることに心を打たれた。

一部では奇跡の小学校と伝えたメディアもあったが、自宅が安全だと避難せずに津波に巻き込まれた方や避難している家族が見つからず再度自宅へ探しに行き津波にのまれた方もおられ、荒浜地区で住民ら180名が犠牲となったことを忘れてはならない。

本年7月に発生した西日本豪雨災害においても、避難指示が出ていたにもかかわらず逃げ遅れた方が多数おられ、広島県では87名が土砂災害で犠牲になりそのうち41名が土砂災害警戒区域や指定予定地で亡くなっている。

私は情報を発信する側と受け手側が同じレベルになっておらず、この状況では情報が活かさない可能性があるのではないかと危惧するところである。

避難勧告や避難指示は、余裕をもって行動できるよう早めに発令することが必要であると思うが、その一方で避難勧告等に基づいて避難されても結局大きな被害がなく、避難する必要はなかったのではないかとということが続けば、心理的に今回も大丈夫との認識で、本来避難が必要な時に行動されないという可能性もある。

まずは命あつての復興であり、行政の指示や判断の難しさを改めて痛感すると同時に、大津市においても自然災害の脅威を地域住民にいかに周知をはかり、一人一人の避難行動に結びつけるのか、行政の最大の使命である市民の命を守るために考えなければならない。

また、仙台市においては都心部から近いなど立地的な優位性もあり、震災以降人口が約40,000人増加をしているが、他の被災地においては復興の工事が進んでいるものの、人口が震災前よりかなり減っている。

このことは、復興にあたって行政主導で進めた市町村と市民と向き合って復興計画を考えた市町村との大きな違いであるように思う。

「ここに商店街を作りますので、皆さん集まってください。周りに家を建ててください。そこに賑わいを作ってください。」ではまちづくりはできるはずがない。

これからは課題がハード面からソフト面へと切り替わり、行政がどのように復興を進めていくのかで様々な課題が浮き彫りになる。

市民に開かれ共にまちづくりを進めていくことがまさにこれからの真の復興と考える。

これは今後のまちづくりを進める大津市にとってもあてはまることであり、住みたいまち、住み続けたいまちを創っていくには、地域住民と自治体がともにまちづくりを進めなければならない。

結びに、今回の視察を通じて今後市議会議員として、地域住民と自治体とのパイプ役になり、安心・安全な「住み続けたいまち・大津」のまちづくりに向けて活動していきたいと強く感じた。

湖誠会 会派視察報告書

平成30年8月1日(水)

函館市

函館市「成年後見センター」の先進的な取り組みについて

【はじめに】

大津市では、成年後見に関する相談業務について、平成19年度より委託業務として実施されてきたところであるが、年々、相談件数や利用支援の件数も増加してきたことから、市民にとってもわかりやすく、活用が図れるよう、窓口の一本化を図ることを目的に「権利擁護サポートセンター」を平成28年度に設置されたところである。

大津市では、市民後見人養成に向けて、段階的に研修を行い、市民後見人の養成を目指しています。

以下、研修内容として、

第一段階・・・市民に対し、権利擁護支援への参画に向けての意識の醸成

第二段階・・・権利擁護に関心のある市民等を対象に、地域での見守り活動の

ための知識の取得

第三段階・・・権利擁護活動に関わる人材の養成

第四段階・・・市民後見人の養成

として、実施しています。

しかしながら、現在、市民後見人の登録はありませんが、平成29年度において第三段階の実践養成研修を行っており、今後、事業所等での実際の経験を踏まえての登録となる予定です。

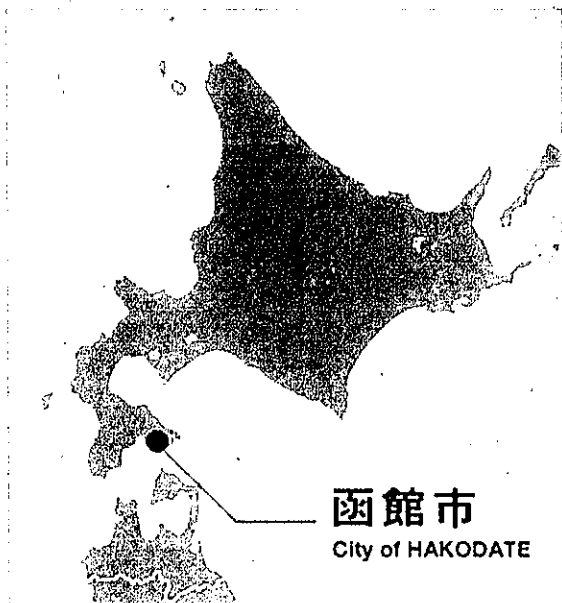
そこで、成年後見制度の新たな担い手である市民後見人を支援するための専門機関として設置された函館市成年後見センターを訪問し、今後の議員活動に資するべく研修を行いました。

【函館市の概要】

室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。この館跡は今の基坂を登ったところ です。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。

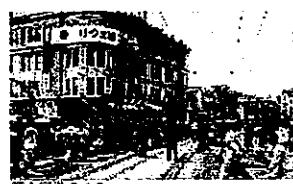


函館市の歴史

- 1454 (享徳3)年 河野政通がウスケシに館を築く。この館にちなみ、この地を館館(「館の家」と呼んだとされています。
- 1793 (寛政5)年 ロシアの公使タスマンが館館に入港。
- 1799 (寛政11)年 高田原幕兵衛、択捉航路を開拓。翌年漁場を開く。
- 1802 (享和2)年 幕府が蝦夷地奉行所を新設。のち館館奉行所に改称。
- 1854 (安政元)年 幕府がアメリカの艦隊ペリーと日米和親条約を締結。アメリカ艦隊5隻が館館港調査のため入港。
- 1855 (安政2)年 館館港が、外国船への食料・水の供給港として開港。
- 1858 (安政5)年 幕府が米国、オランダ、ロシア、英国、フランスの5ヶ国と修好通商条約を締結。
- 1859 (安政6)年 館館、横浜、長崎を自由貿易港として指定。館館港は6月2日(新暦7月1日)に開港。
- 1864 (元治元)年 星形要塞である五稜郭の建設が完了。
- 1869 (明治2)年 五稜郭に立てこもっていた旧幕府軍が新政府軍に降伏。蝦夷を北海道に改称。
- 1922 (大正11)年 市制施行。第1回函館市会開く。
- 1929 (昭和4)年 駒ヶ岳大噴火、付近の被害甚大。
- 1934 (昭和9)年 函館大火。3月21日住吉町から出火、死者2166人。
- 1935 (昭和10)年 7月1日を開港記念日とし第1回まつりを開催。
- 1939 (昭和14)年 函州町と合併。
- 1945 (昭和20)年 7月14日・15日、米軍が函館を空襲。死者477人。
- 1946 (昭和21)年 最初の市長公選(坂本森一氏当選)。
- 1946 (昭和21)年 北洋漁業サケ・マス漁再開。戦後最初の出漁。
- 1954 (昭和29)年 台風により「洞爺丸」ほか4隻の青函連絡船沈没。総亀沢村と合併。
- 1966 (昭和41)年 亀田市と合併。
- 1973 (昭和48)年 函館市民憲章制定。
- 1977 (昭和52)年 市の新庁舎完成。カナダのハリファックス市と姉妹都市提携。
- 1983 (昭和58)年 JR津軽海峡線開業。青函連絡船が終航。青函トンネル開通記念博覧会開催。
- 1989 (平成元)年 青森市とツインシティ提携。はまなす国体開催。
- 1992 (平成4)年 ロシアのウラジオストク市、オーストラリアのレイク・マコーリー市と姉妹都市提携。
- 1993 (平成5)年 北海道南西沖地震発生。
- 1997 (平成9)年 ロシアのエジノサハリンスク市と姉妹都市提携。
- 2000 (平成12)年 公立はこだて未来大学開学。新市立函館病院開院。特別市に移行。
- 2001 (平成13)年 中国の天津市と友好交流都市提携。
- 2003 (平成15)年 総合保健センター、新函館競輪場開設。JR函館駅新駅舎オープン。
- 2004 (平成16)年 戸井町・恵山町・網走平村・南茅部町と合併。
- 2005 (平成17)年 北海道新幹線建設着工。中沢市に移行。
- 2007 (平成19)年 地域交流まちづくりセンター、国海研究所開設。「中沢上町」が国家に指定。
- 2010 (平成22)年 館館奉行所開館。
- 2011 (平成23)年 東日本大震災発生。函館市自治基本条例施行。韓国の高陽市と姉妹都市提携。縄文文化交流センター開設。
- 2012 (平成24)年 はこだて療育・自立支援センター開設。
- 2014 (平成26)年 国際水産・海洋総合研究センターオープン。北海道新幹線駅名「新函館北斗」に決定。
- 2015 (平成27)年 函館アリーナオープン。
- 2016 (平成28)年 北海道新幹線開業。はこだてみらい館・はこだてキッズプラザオープン。
- 2017 (平成29)年 函館コミュニティプラザオープン。函館市を合した北函館寄港地1自治体のストーリーが日本遺産に認定。



幕府奉行所庁舎



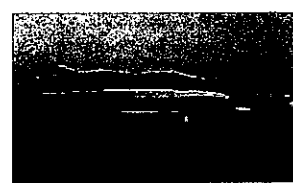
第1回まつり



北洋漁業の出漁見送り風災



3町1村との合併協定調印式



新庁舎東側の復元

編集 函館市企画部広報広聴課(函館市東雲町4番19号 電話0139-21-3631)

函館市の概要

室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ)アイヌ語で海(海の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が館に取っているところから「館館」と呼ばれることになりました。この館館は今の基盤を築いたところです。明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、館館も函館と改められました。

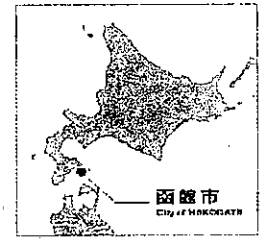
函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。

人口 260,174人(平成30年3月末現在)
 世帯数 142,389世帯(平成30年3月末現在)
 面積 677.86km²(平成29年10月1日現在)
 位置 東経140度44分 北緯41度46分(市役所)
 気候 3つの海に囲まれ対馬高気圧の影響を受ける函館は、海洋性気候のおかげで、北海道としては降雪量が少なく比較的穏やかな気候です。

市の木 おんこ(いちい)(昭和50年4月1日制定)
 市の花 つつじ(やまつつじ)(昭和50年4月1日制定)
 市の鳥 ヤマガラ(昭和62年5月10日制定)
 市の魚 イカ(平成元年8月1日制定)

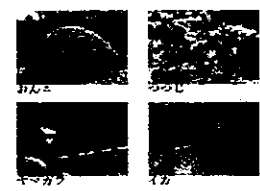
函館市章(昭和10年7月13日制定)
 天然の良港函館港は、津軽海峡に突出した岬の角に抱かれた形をしており、海水が深く湾入して巴状になっているところから、俗に「巴の港」といわれています。
 函館市旗(昭和43年6月11日制定)
 明治初期に市の象徴として用いられていた五稜星と現在の市章を合わせ現代的に表現したもので、地色の青は空と海洋、五稜の赤は歴史と市民の意欲、巴と五稜を隔む白は未来への飛躍を表しています。
 函館ロゴマーク(平成25年7月作成)
 函館のPRやイメージアップを図るために作成しました。使用する場合は使用承認の手続きが必要です。

本文
 わたくしたちは、北海道の文化発信の地、函館に住む市民です。山と海にかこまれた美しい自然を誇り、すぐれた市民性をはぐくんできた函館を、いっそう住みよい都市に発展させるため、わたくしたち市民とまちの理想像をかかげ、ここに市民憲章を定めます。
 本文
 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち



気温(平成29年)

年平均気温	9.4℃
最高気温	32.4℃
最低気温	-12.0℃



【調査項目】

1. 函館市の成年後見制度を取り巻く環境と成年後見センター設立に至った経緯について・・・

函館市では、全国や北海道平均を上回る急速な高齢化に伴い、増加傾向にある認知症高齢者や、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人が、自身の権利や財産を守り、自分らしく安心して暮らせる地域づくりが急務となってきた。

そのために、成年後見制度を適切に利用できる環境や体制の構築を図ることとし、平成28年4月に成年後見制度に関する相談から制度の利用に至るまでのワンストップ窓口として、さらに成年後見制度の新たな担い手である市民後見人を支援するための専門機関として函館市成年後見センターを設置した。

2. 成年後見センター設置までの経緯について・・・

- ① 平成25年11月～平成27年1月 函館市市民後見推進検討委員会設置
- ② 平成27年8月 函館市成年後見センター運營業務にかかる業者選定
- ③ 平成27年11月～平成28年3月 函館市成年後見センター準備業務委託(函館市社会福祉協議会へ委託)
- ④ 平成28年4月 函館市成年後見センター開設

3. 市民後見人の養成について・・・

① 経過

- ・平成27年2月に、北海道、函館市および近隣市町の共催で市民後見人養成研修を開催し、函館市民38名が全課程を修了し修了証を交付
- ・平成28年4月の函館市成年後見センター設置後、センターより修了者に対し市民後見人候補者登録の意向を確認した結果17名が登録
- ・新たな市民後見人候補者を確保するため、平成30年度に2回目の市民後見人養成研修を開催

② 養成研修終了者に対するフォローアップについて

- ・ 成年後見センターでは、市民後見人として育成および資質向上を図るため、養成研修終了者に対してフォローアップ研修の実施

4. 函館市成年後見センター実績および課題について

① 相談件数は、平成28年度120件、平成29年度は409件で、市民後見受任件数は、平成28年度0件、平成29年度2件、平成30年度は7月末で3件

② 課題としては、

- ・ 関係機関とのさらなる連携
- ・ 相談員等のスキルアップ
- ・ 市民に対する制度やセンター利用のさらなる周知
- ・ 市民後見人登録者の確保

5. 成年後見制度に係る今後の事業展開について

函館市では、平成29年3月に国の成年後見制度利用促進基本計画が策定されたことを踏まえ、専門職団体との意見交換を行いながら平成30年度中に市町村の基本計画を策定する方向で現在進めている。

今後は、市町村の基本計画の中で当該センターを中核機関と位置づける予定であることから、中核機関として当該センターの機能強化を図るとともに、地域連携ネットワークの構築を含めた関係機関との連携を深め、将来的には広域的な活動も視野に入れたいと考えている。

また、新たな市民後見人の養成に関しては、候補者の登録者数と実際の利用状況のバランスを見ながら随時の研修会開催を検討している。

【参加議員からの質問事項】

[八田議員]

① 虐待ケースからの連携について

・地域包括で解決に向けて取り組んでいる

② 精神障害者保健福祉手帳所持者の対応について

・市長申し立てでは時間がかかりすぎるため、報酬制度を利用

③ 金銭管理について

・日常生活支援として、支援員17名中10名が受託

センター職員は支援員とならない

[仲野弘子議員]

① 設置までの準備期間について

・平成25年～平成27年検討委員会を開催

・不正防止のため法人での対応が必要である

② 相談内容について

・制度の内容の問い合わせが多い

・制度の認知度は低い

[草野議員]

① 38名の修了者に対し、登録意向者が17名では少ないのでは

・事前説明会を開催しているが、周知不足の感がある

・1回目の事前説明会で辞退者が出ている

・2回目は登録を前提に説明会を開催

② 設置者の募集について

・複数問い合わせがあったが、最終は社協のみであった

[近藤議員]

① 若年齢層への対応について

・現状は平均50歳ぐらいの対応で有り、30、40歳代は有職者が多く時間的な検討が必要である。

② 後見人の選考について

- ・規定による選考

[伊藤議員]

① 対象者の親の対応について

- ・発達障害児者等については、福祉的にとらえている

② 保護司との連携について

- ・連携し、再犯防止の観点から認識している

③ 民生委員との連携について

- ・現状は困難であるが在宅福祉委員との連携を図っている

[竹内基二議員]

① 任意後見制度について

- ・行政としては現在関わっていない
- ・対象者が個別に依頼している

【所 感】

函館市では、平成29年3月に国の成年後見制度利用促進基本計画が策定されたことを踏まえ、専門職能団体との意見交換を行いながら平成30年度中に市町村の基本計画を策定する方向で現在進めている。

今後は、市町村の基本計画の中で当該センターを中核機関と位置づける予定であることから、中核機関として当該センターの機能強化を図るとともに、地域連携ネットワークの構築を含めた関係機関との連携を深め、将来的には広域的な活動も視野に入りたいと考えているとのことである。

また、新たな市民後見人の養成に関しては、候補者の登録者数と実際の利用状況のバランスを見ながら随時の研修会開催を検討されている。

昨年度、特別委員会において、大津市が大津市社会福祉協議会に業務委託している相談センターを視察してきたが、予算的なことからか、相談スペースとしては手狭な感が拭えず、相談員の数も少なく機能が発揮できるには疑問を感じざるを得な

い。

また、大津市としては市民後見人制度設置の設置については考慮されておらず、高齢認知者が増えることを念頭に、早急に市民後見人制度の設置について検討すべきであると感じた。